

校長室 だより

平成29年 10月20日 (金)

羽咋市立瑞穂小学校 No.6



共 育

10月11日の研究発表会は、たくさんのお客様をお招きして盛大に開催することができました。この日を迎えるためにPTAや老人会の皆さまには環境整備に向け多大なご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。

また、当日も駐車場や受付、接待などPTA役員の皆さまには本当にお世話になりありがとうございました。

当日は子どもたちが協働的に学習する様子をたくさんの方々に見ていただくことができました。また、講師としてお招きした腰塚勇人さんと5、6年生のほっとタイムでは、すなおに表現する子どもたちの姿に、職員一同、勇気ももらうことができました。

その後の講演会では腰塚氏のご経験を聞かせていただき、人と人の関わりの中に生かされていることや自分を大切にすることを育てることが人生を豊かなものにする原動力になることなど、腰塚氏の言葉の一つ一つが心に染みる思いでした。記念の講演会には、PTA会員の皆さまも、お忙しい時間帯にもかかわらずたくさんお集まりいただきました。

<研究授業の様子から>

1年生 生活科「いきものとなかよし」

自分たちが飼っているモルモットの遊び場をグループごとに考え、全体で交流しました。日頃のお世話の経験や観察から得た知識をもとに、モルモットが安心して楽しめるトンネルやすべり台などを考えました。生き物をかわいがり命を大切にする心を学びました。



2年生 生活科「あそんで ためして くふうして」

1年生を招待して手作りおもちゃで遊ぶためにグループごとにおもちゃ作りに取り組み、みんなが楽しく遊ぶためのルールを考えました。輪投げや金魚釣りなど自分たちが作った遊び道具をさらに改良したり1年生にあったルールを決めたりして、1年生の楽しむ姿を思いうかべながら話し合っていました。

3年生 総合的な学習の時間「お年よりとなかよし大作戦」

高齢者のための2つの施設「老人福祉センター」と「高齢者向け住宅みずほ」を、グループに分かれて取材しお年よりと触れ合うことで、得られた情報や感じたことを報告し合いながら、違いや共通点をまとめました。お年よりの笑顔がたくさん見られたことや支える人たちの存在に気づき、自分たちにもできることはないか考えを出し合いました。

4年生 国語科 「調べたことを整理し、発表しよう」

総合的な学習の時間に障害のある人のための道具や施設を、市内を回って調べました。そこで得た情報を国語の時間の、発表の仕方を学ぶ学習に生かし、タブレットを用いて写真や動画を示しながら3年生にも分かる発表の仕方を考えました。実際に自分たちの発表の様子を撮影し、改善点を考えながら分かりやすい発表を目指しました。

5年生 道徳 「すてきなひと時」(支え合う心 『感謝』)

足が遠のいてしまった認知症の祖父と足の不自由な祖母の家に、同い年の子の新聞の投稿をきっかけに訪れるようになった主人公が、祖父母からすなおな心や健やかな心の大切さを学びます。資料を読んで考えを交流した後、ゲストティーチャーの大窪幸子さん(高齢者住宅みずほ施設長)から、感謝する心や支え合って生きることについて教えていただきました。

6年生 国語科 「つなげて読もう宮沢賢治作品」

宮沢賢治の「やまなし」を賢治の生き方と重ね合わせて読み、作者が伝えたかったことについてそれぞれの考えを交流しました。作品の中で対比的に描かれている「やまなし」と「かわせみ」に着目し、それぞれが象徴するものを賢治の願いやメッセージとしてつなげて読むことができました。

<腰塚氏とみずほっ子(5, 6年)のほっとタイムから>

ランチルームでたくさんのお客さんを前に子どもたちは腰塚さんの生き方について「首から下が動かなくなったら自分ならあきらめてしまったと思います。」「家族のために苦しいリハビリを乗り越えた腰塚さんはすごいと思います。」など素直に話してくれました。

腰塚さんは自分の失敗(事故)と一緒に受けとめ支えてくれた家族やお医者さん、同じ学校に勤めていた先生方など周りの人への感謝の気持ちを『5つの誓い』に込めて全国で命の授業や感謝の授業をしていることを話してくださいました。

5つの誓い

口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう
耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
目は人のよいところを見るために使おう
手足は人を助けるために使おう
心は人の痛みが分かるために使おう

